

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／メディア・調査実習応用6 (Advanced Media Research Practice 6)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	バズらせる！「実戦」ウェブライティング		
担当者名 (Instructor)	河崎 環(KAWASAKI TAMAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3430	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	人数制限科目(20名)		

#### 授業の目標(Course Objectives)

現代ジャーナリズムにおいて、最もスピードと熱量と社会的影響力を持つメディアは紙でも電波でもなく、ウェブになり代わった(良かれ悪しかれ)。メディア史を概観し踏まえた上で、テキストが文脈から分離し一瞬で伝播する SNS 時代の「正義」やユーザ行動原理について考察し、ポストトゥルース社会で真にジャーナリスティックでありたいと望む皆さんと、これからのウェブで生き延びる技術を磨く。

In modern journalism, the fastest, heated, and socially impactful media is not paper or radio wave – It is internet (be it good or bad). Students will first study overall media history before analyzing justice and users' behavioral theories in social media age in which texts can be divorced from their contexts and broadcasted immediately. Students who aims for true journalism in this post-truth society will hone their skills to thrive in future online society.

#### 授業の内容(Course Contents)

25年前には存在せず、想像もされなかった職業、ウェブライター・コラムニストである講師が、ウェブメディア黎明期以来約20年のキャリアから培った実践的(実戦的)なウェブライティング知識と技術を教える。生活系ネットメディアからファッション誌、文芸、政治経済誌、政府系出版物まで幅広く書くライターが目にしてきた、ウェブライティングの世界とは。

マスコミの大人の事情、「数字(PV)か、それとも目に見えぬ価値の創出か」と悩む編集者、ネットの賞賛や誹謗中傷、テレビに出演した瞬間に突如増える SNS 匿名フォロワーとの付き合い方。実際の取材・原稿執筆の裏話、各社による校閲・校正の実際なども紹介する。ウェブ誕生後に生まれた Z 世代として自分達のネット的強みとは何か、そしてもしプロを志望するなら、きちんと商品になる原稿とはどのようなものかを考察しよう。

25 years ago, occupations such as online writers and columnists were not even imagined. Lecturer will teach empirical (practical) online writing knowledge and techniques which accumulated in 20 years of career, from dawn of online media till now. What does online-writing world mean? Lifestyle online medias, fashion magazines, literature magazines, political economic magazines, government publications – Lecturer who had written about various topics now tries to verbalize the aesthetics of online-writing.

The complicated truth of mass media; editors who hesitated between creating page views (PV) or intangible values; online praises and defamation; interactions with anonymous spiking social media followers after TV presences. Lecturer will introduce backstage stories of material collection and draft writing, as well as proofreading and editing by various publishers. Students as Gen Zers born after internet birth will think about their strength on Internet and discuss their essays' professional quality suitable to put on market.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 講座ガイダンス
2. ウェブ概論(1)
3. ウェブ概論(2)
4. ウェブライティング: 混沌
5. ウェブライティング: 葛藤
6. ウェブライティング: 高揚
7. ウェブライティング: 陶酔
8. ウェブライティング: 失望
9. ウェブライティング: 絶望
10. ウェブライティング: 呪詛
11. ウェブライティング: 光明
12. ウェブライティング: 祈り
13. ウェブライティング: 正義
14. 終論(課題講評)

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習復習として、日ごろからウェブニュースメディアで様々な分野領域の記事を幅広く見ておくこと、それらに対して自分の意見を持っておくこと。少人数クラス、ゼミ形式で講義とディスカッションの混じったスタイルで授業を行うため、文章の読み書きや人前での発言など、受信・発信に柔軟な姿勢が望ましい。授業主旨は「ライティングスキルを磨き、実際の商品となる文章をアウトプットする能力を鍛えること」にある。最終課題は、任意のウェブメディアに掲載することを想定し、2000～3000字程度のウェブ記事を執筆して提出、最終講義日に全員講評とする。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 授業貢献度(出席数、発言回数や内容、提出物のクオリティなど)(60%)  
ゲストスピーカー登壇の回(2回予定、ガイダンスで案内)は、原則的に全員出席のこと。

#### テキスト(Textbooks)

1. 河崎環、2016、『女子の生き様は顔に出る』、プレジデント社 (ISBN:978-4833422093)
2. 河崎環、2019、『オタク中年女子のすすめ』、プレジデント社 (ISBN:978-4833423274)

#### 参考文献(Readings)

1. M. マクルーハン、1987、『メディア論—人間の拡張の諸相』、みすず書房 (ISBN:978-4622018971)
2. 鈴木健、2013、『なめらかな社会とその敵』、勁草書房 (ISBN:978-4326602476)
3. 水村美苗、2015、『増補 日本語が亡びるとき: 英語の世紀の中で』(ちくま文庫)、筑摩書房 (ISBN:978-4480432667)
4. 小田嶋隆、2020、『小田嶋隆のコラムの切り口』、ミシマ社 (ISBN:978-4909394323)
5. 五明拓弥、2018、『全米は、泣かない。』、あさ出版 (ISBN:978-4866670218)
6. 武田砂鉄、2020、『わかりやすさの罪』、朝日新聞出版 (ISBN:978-4023318762)
7. 石戸諭、2021、『ニュースの未来』(光文社新書)、光文社 (ISBN:978-4334045593)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

#### 注意事項(Notice)